

令和7年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 5 環境の保全と快適で安全なまちづくり

主要課題	No. 45	循環型社会の形成
------	--------	----------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●

主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。

4年後の目指す姿	食品ロスの削減や脱プラスチック、2Rなどの資源生産性を高める取組が一層強化されるとともに、使用済みプラスチックなどの資源循環が促進され、環境への負荷が抑制された循環型社会が形成されている。
計画期間の方向性	○2R（リデュース・リユース）及びリサイクルの促進 持続可能な社会を実現するため、区民等が主体的にリデュース・リユースに取り組み、廃棄物発生の最小化が図れるよう促すとともに、リサイクルを通じた資源循環に取り組んでいきます。 ○事業系ごみの適正処理の推進 事業系ごみの適正処理を推進するため、事業所の規模に応じて、ごみの発生抑制をはじめとする3Rの推進や、廃棄物管理責任者への支援策の充実など、適切排出に向けた指導・啓発に取り組みます。

事業費（令和6年度） 上段：実績 下段：当初予算

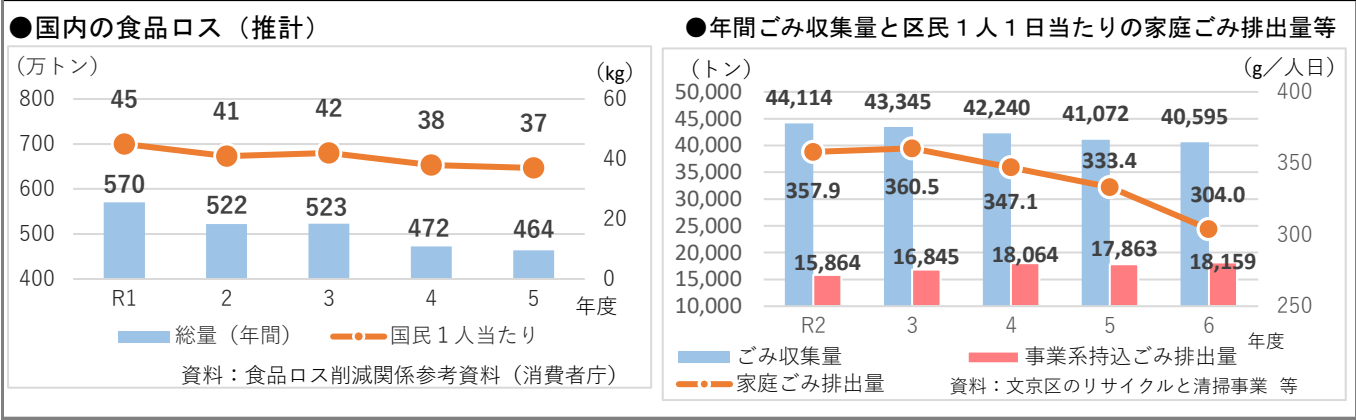
1 どのような事業で何をしたか（実績）

戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。

事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割							事業費(千円)
158	2 R（リデュース・リユース）の推進	リサイクル清掃課	区民の2 Rに対する意識を醸成し、自主的な取組を支援する。							7,127千円
										(11,978千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	
	① フードドライブ回収量		kg	5,318	3,760	1,990				
	② ぶんきょう食べきり協力店登録店舗数		店舗	69	74	89				
③ 文京ecoカレッジ参加者数		人	271	216	245					
159	資源の集団回収支援	リサイクル清掃課	区民のリサイクル意識を醸成し、ごみの減量を図る。							26,636千円
										(31,161千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	
	① 集団回収を通じた資源回収量		t	3,654	3,436	3,236				
	② 再利用実践団体活動数		団体	587	590	587				
160	資源回収事業	リサイクル清掃課	資源の有効活用とごみ減量を図る。							492,208千円
										(431,868千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	
	① 集積所回収・拠点回収を通じた資源回収量		t	9,488	9,063	9,024				
	② 資源回収拠点数		箇所	35	34	34				
161	プラスチック分別回収事業	リサイクル清掃課	プラスチックの資源化とごみ減量を図る。							14,410千円
										(30,220千円)
	主な取組実績									
	R5(2023)	令和4年度の「プラスチック分別回収モデル事業」の実施結果を踏まえ、5年7月にリサイクル清掃審議会から「文京区内全域でプラスチックの分別回収を進めるべき」との答申を受けました。								
	R6(2024)	7年4月から実施するプラスチック分別回収事業に向けて、区民説明会を全27回開催したほか、共同住宅の管理人への訪問・周知を実施しました。また、区報やホームページ、SNS等を活用した情報発信や事業チラシ等の全戸配布など、様々な方法により、区民等への周知・啓発を行いました。								
162	事業系ごみ対策	リサイクル清掃課	事業系ごみの減量と適正処理を促進する。							37千円
										(43千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	
	① 事業用大規模建築物における再利用率		%	57.8	54.3	54.7				
	② 事業用中規模建築物における再利用率		%	59.3	57.4	54.8				
③ 事業用大・中規模建築物立入調査・指導実施数		事業所	245	243	166					
●特記事項（実績の補足）										

2 社会ではどのような動きがあったか (社会環境等の変化)		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
有	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
無	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
国は、令和6年8月に循環型社会形成推進基本法に基づき、循環型社会の形成に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「第五次循環型社会形成推進基本計画」を閣議決定しました。また、7年3月に食品ロスの削減の推進に関する法律に基づき、食品ロスの削減を国民運動として進めていく上で、国・地方公共団体をはじめ、事業者・消費者等の取組の指針となる「第二次食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」を閣議決定しました。		

3 成果や課題は何か（点検・分析）	1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。
〇2R（リデュース・リユース）及びリサイクルの促進	
「食品ロス削減推進計画」に基づき、家庭系食品ロス削減に向けた「エコ・クッキング教室」や「フードドライブ」、事業系食品ロス削減に向けた「食べきり協力店」、「フードシェアリングサービス 文京×タベスケ」などの事業を通じ、食品ロスの削減に貢献しています。 また、「子ども服無料頒布会」等を開催し、サイズアウトしやすい子ども服の循環利用を促進することで循環型社会の形成に取り組みました。 本区の人口は増加していますが、これらの取組の結果、区民1人が1日当たりに排出する家庭ごみの量は減少しました。 さらに、プラスチック分別回収事業を令和7年度から開始するため、区報、区HP、住民説明会、チラシの全戸配布、共同住宅の管理人への訪問など多様な方法により、誰もが理解できるように徹底した周知を図りました。 環境への負荷が抑制された循環型社会の形成に向けて、区民一人ひとりの取組を促すことで、資源循環とごみ量の削減を推進していく必要があります。	
〇事業系ごみの適正処理の推進	
コロナ禍以降、在宅勤務を継続している事業者も多いため、事業系持込ごみ量は、コロナ禍以前の水準を下回っています。 一方で、更なる事業系ごみの適正排出処理と減量を図るため、廃棄物管理責任者に対して、法令等の知識を習得する講習会のe-ラーニング化や、効果的なごみ減量等の取組をまとめた廃棄物削減優良取組事例集を作成し、紹介するなど、事業者を支援しています。	



【SDGsの視点】	
	公衆衛生の維持と生活環境の保全を図るため、ごみ集積所等に排出されたごみを安定的かつ効率的に収集するとともに、区民や事業者に対し、ごみの適正排出を働きかけています。 地震や風水害などの災害に備えるため「文京区災害廃棄物処理計画」を策定しています。大規模災害発生後には、本計画に基づき、災害廃棄物を迅速に処理することにより、区民の生活環境の保全と公衆衛生を確保するとともに、早期の復旧、復興に努めます。
	文京ecoカレッジの各種講座や3R啓発イベントであるエコ・リサイクルフェア、Bunkyoごみダイエット通信の発行、資源回収イベントのステージ・エコ、リユースの取組である子ども服無料頒布会やフードドライブ、フードシェアリングなどの事業を通じて、3Rを促進する行動が環境問題の解決やSDGsとつながっていることを区民等に周知し、区民一人ひとりの行動を促すことで、循環型社会への意識醸成を進めます。
	燃やされるごみを削減するため、集積所での資源回収に加え、拠点回収やイベント回収、集団回収により、ごみの資源化を図っています。 脱炭素の視点に基づいた資源循環をより進めるため、引き続き周知・啓発を行いプラスチック分別回収事業を推進していきます。
	家庭から排出されるプラスチックごみの削減を目的として、新たにテイクアウト等を実施する際の脱プラスチック製容器等の購入経費、又はテイクアウト等において使い捨てプラスチック製容器等から脱プラスチック製容器等に切り替える際に係る経費の一部を補助する「脱プラスチック製容器等購入費補助」事業を実施しています。
	資源循環型社会を目指した3R推進事業として、ステージ・エコ実行委員会と共に「ステージ・エコ」を年5回開催し、各種資源回収及びフードドライブ、陶磁器製食器類の無料頒布等を実施しています。 地域でのリサイクルを始めとした3R活動の実践に取り組むリサイクル推進サポーターと協働で、区主催の3R普及啓発事業等を実施しています。 地域のリサイクル活動を促進するため、町会・自治会、マンションの管理組合、PTAなどで構成される集団回収実践団体に対して、報奨金の支給等、支援を行っています。

4 今後どのように進めていくか（展開）	3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、今後の戦略としての進め方を記しています。
持続可能な社会を実現するため、「文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン文京）」において、重要施策として位置付けている「食品ロスの削減」と「プラスチックごみの削減」に重点的に取り組んでいきます。また、令和6年度に実施した家庭ごみ組成分析調査等の基礎調査やプラスチック分別回収事業の実施状況等を踏まえて、8年3月の中間見直しに反映していきます。 プラスチックの分別回収事業については、引き続き、様々な手法を組み合わせた周知啓発を図り、想定回収量の目標達成及び残渣の少ないリサイクルに適したプラスチックをより多く回収することを目指します。また、子ども服無料頒布会等を通じて、リユースの機会を提供することで更なる資源循環に取り組んでいきます。 事業系ごみの適正処理の推進については、引き続き、区内事業者の廃棄物削減優良取組事例集を活用し、指導・助言することで、事業所における適正処理の中心的役割を担う廃棄物管理責任者が主体的に行動できる環境整備に取り組んでいきます。	